

ミュージアム知覧

館報 第21号

令和7年（2025）3月

〈 館 報 目 次 〉

I. 展示事業	1
1. 常設展示	
2. 企画展示	
II. 教育普及事業	3
1. 博物館講座・教室等	
① 博物館実習受入	
② こども学芸員活動	
③ 学校教職員研修・社会科学習等の利用	
④ 講演会・公民館講座・シンポジウム等	
III. 調査・研究活動	5
1. 調査活動・調査指導等	
2. 報告書・図録・刊行物及び市内看板説明等	
3. 発表・執筆等	
IV. 収集活動・資料貸出等	6
1. 受託・受贈資料	
① 受託資料	
② 受贈資料	
2. 資料貸出及び掲載等許可	
V. 博物館入館者状況	7
VI. 南九州市の指定文化財一覧	8
VII. 管理・組織	(奥付)

I. 展示事業

1. 常設展示



○金鉱石展示コーナーのリニューアル

赤石鉱山の金鉱石（寄託資料）について、分析研究を行った東京大学・大田隼一郎講師より提供いただき、断面観察ができるようリニューアルされた。



2. 企画展示

○南九州市の民俗芸能と民俗行事」パネル展

【期間】令和6年5月2日～令和6年6月25日

南九州市内には、国・県・市指定の無形民俗文化財以外にも民俗芸能や民俗行事が伝承されている。しかし、少子高齢化による担い手不足やコロナ禍による奉納・披露の機会の減少をきっかけに、伝承が途絶える芸能・行事が増えつつある。

市内の無形民俗文化財（民俗芸能と民俗行事）を指定・未指定問わず「地域のお宝（資源）」として写真パネルを主体として紹介することで、伝統を継承する意義について再考する機会を提供する目的で開催した。

紹介した無形民俗文化財はゴクダイマジユイ（頤娃町郡）、カセダウチ（知覧町各地）、宮中福良棒踊り（川辺町宮）など10点以上でB1サイズに引き延ばしたものをパネルにして展示した。



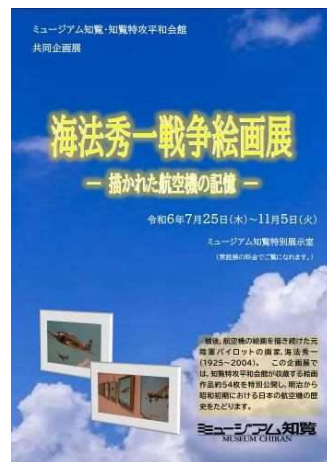
○海法秀一戦争絵画展 一描かれた航空機の記憶一

【期間】令和6年7月25日～令和6年11月5日

故海法秀一画伯は、第13期少年飛行兵出身の元陸軍飛行兵である。太平洋戦争末期には、教育飛行隊に配属され後輩を指導する傍ら、本土防空戦にも参加し、戦後は競輪選手として活躍の後、千葉県の中央航空(株)で教官を務める傍ら、数多くの航空戦の油彩画を描いた。

本企画展では、その絵画54点を展示し、これらの作品を通して、20世紀前半期における航空機の歴史や、日中戦争から太平洋戦争における航空戦の様子をたどることができ、あらためて平和の尊さを確認し、英霊の冥福を祈念することを目的とした。

絵画の他、航空機の模型、戦時中のポスターなど知覧特攻平和会館の協力のもと、実物資料も各所に展示をすることで、観覧者に戦時下の日本を想像してもらうことで、本企画展の目的が伝わるような構成とした。



○南九州市内高校生たちによる書道作品展『三高展』

【期間】令和6年12月1日～令和7年1月14日

頤娃・薩南工業・川辺高等学校合同による書道作品展。市内3校合同での実施は今回が初めてだった。会期中の12月21日には、ミュージアム知覧前庭で薩南工業・川辺高校の書道部による大型作品の書道パフォーマンスも実施した。展示やから撤収作業、パフォーマンスの運営なども生徒が参加し、学校からの全面的な協力をいただいた。

また、市内高校生をはじめ、市内にある書道教室にも招待券を配布したことにより、本企画展をきっかけに、初めてミュージアム知覧を訪れる市民も多く、来館者の掘り起こしにつながった。アンケートでは次回開催を望む感想が多数寄せられた。



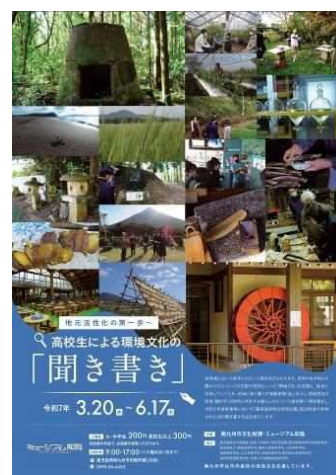
○地元活性化の第一歩

～高校生による環境文化「聞き書き」～

【期間】令和7年3月20日～令和7年6月17日

鹿児島県の豊かな自然と人との関わり（環境文化）について、県内各地で活躍する経験豊富な地域の先輩を話し手に、同じ地域で学ぶ高等学校の生徒たちが聞き手となり、自然と共生する暮らし方を聞き取り、環境文化の伝承につなげるための記録を収集・蓄積する取組である鹿児島県自然保護課の事業「環境文化の聞き書き事業」の薩南海岸県立自然公園周辺地域の記録を中心に、南薩地域の見どころ、高等学校を紹介することで地域活性化につなげることを目的とした。

聞き書きの記録パネルの他に、南九州市の海岸線の航空写真パノラマ展示、南薩地域の魅力や南薩地区の高等学校の紹介コーナーを設置することで、来館者に今、来ている南九州市とはどんな場所かを知ってもらう展示となった。



○LINE ミュージアム

【期間】令和5年6月7日～（毎週水曜日）

週1回南九州市の公式LINEにて、市を一つの博物館ととらえ、文化財や文化財にまつわることを紹介している。当初は開館30周年の記念事業として令和5年度開始し、1年間の実施予定だったが、令和6年度も継続して配信を続けている。



令和6年5月22日配信

② こども学芸員活動

ミュージアム知覧では、こどもたちに博物館の持つ役割や活動を広く知ってもらうとともに、地域の歴史や文化財に興味を持つことにより郷土に対する誇りや愛着を喚起し、貴重な文化財を次世代に継承していくことを目的に、平成15年度から「ミュージアム知覧こども学芸員活動」を実施している。

また本年度開催地となった「日本遺産シンポジウム」との連動企画として、シンポジウムでの発表につなげることも狙いとした。

市内在住の小学校5年生～中学生とその保護者を対象に定員10組を募集した。

●夏の自由研究 in 日本遺産

第1回 令和6年7月29日（月）9:30～12:00

場所：ミュージアム知覧フォーラム

知覧武家屋敷

参加者：4名

ミュージアム知覧フォーラムに集合し、今回の活動内容を説明したのち、南九州市の日本遺産を構成している知覧麓へ移動し、講師の講話を聞きながら、麓の街並みの現代との違い、他の地域では見られない特色などの解説、さらに鹿児島県で制作している「かごしま文化財辞典」を活用した調べ学習を説明を聞くことでそれぞれの自由研究のテーマを決める材料を提供した。

第2・3回 令和6年8月9日（金）・16日（金）

場所：ミュージアム知覧フォーラム

第1回の実地見学を経て、こども学芸員らが自由研究を進める中で、生まれる深めたい内容や疑問点などについて、ミュージアム知覧の職員が、自由研究の制作をフォローした。

Ⅱ. 教育普及事業

1. 博物館講座・教室等

① 博物館実習受入

見学実習

7月 鹿児島国際大学 学芸員資格課程履修生 9名

博物館の展示法や社会教育機関としての教育活動など、博物館運営を現場で学ぶため

8月 志学館大学 人間関係学部人間文化学科 1名

学芸員資格を取得するため



③ 学校教職員研修・社会科学習等の利用

○学校教職員研修

8月 フレッシュ研修（社会教育等研修）
新規採用教職員 8名

○社会科学習等

〈職場体験〉

5月 知覧中学校 2名

〈社会科見学等〉

5月 粟ヶ窪小学校 9名

9月 知覧小学校 47名

11月 顚娃小学校 22名

1月 九玉小学校・宮脇小学校 29名

2月 中福良小学校 4名

霜出小学校 14名



知覧小学校（3年生）



知覧中学校（職場体験）



顚娃小学校（6年生）



粟ヶ窪小学校（1・2年生）



九玉小学校・宮脇小学校（3年生）



中福良小学校（3年生）



霜出小学校（3年生）

④ 講演会・公民館講座・シンポジウム等

- 4月 清水地区公民館「春の文化財めぐり」講師：新地
 5月 鹿児島県建築士会南薩支部
 「講演会及び展示説明」講師：新地
 南九州市地域女性連川辺支部「女性連学習会」
 講師：新地
 6月 南九州市ゴールドクラブ
 「南九州市ゴールドクラブ連合会研修会」
 講師：新地
 川辺中学校「1年生総合学習」講師：新地
 すっがホイ祭り in 小野実行委員会
 「すっがホイ祭り in 小野」講師：新地
 松山長寿会「長寿会研修」
 ミュージアム知覧自由見学
 7月 南九州市立図書館「薩南文化講演会」講師：新地
 8月 川辺地区公民館長「かわなべ探検の会」
 講師：新地
 大丸地区公民館長「夏休み子ども教室」
 講師：新地
 9月 すっがホイ祭り in 小野実行委員会
 「すっがホイ祭り in 小野」講師：新地
 川辺図書館「川辺郷土文化講演会」講師：新地
 郡山公民館自主学习グループ
 「郡山ふるさとを学ぶ会」講師：新地
 10月 あづま寿会「あづま寿会教養講座」講師：新地

- 11月 鹿児島国際大学「調査研究活動」講師：新地
 霜出地区公民館「史跡巡り」講師：坂元
 まちづくり推進課「文化財巡り教室」
 講師：新地・坂元



日本遺産シンポジウム

- 12月 まちづくり推進課「文化財巡り教室」
 講師：西垂水
 2月 宮脇地区子連「歴史学習」講師：坂元
 中福良地区公民館「史跡巡り」講師：坂元

Ⅲ. 調査・研究活動

1. 調査活動・調査指導等

- 宝光院跡発掘調査
 鹿児島県考古学会副会長 上田 耕
 中世陶磁器研究者 橋口 亘
 中世石塔研究者 西野 元勝
 鹿児島県立埋蔵文化財センター 東 和幸
- 清水磨崖仏等石造物調査及び保存指導
 筑波大学大学院世界遺産専攻教授 松井 敏也
 奈良県立橿原考古学研究所主任研究員 河崎 衣美
- 飯倉神社和鏡調査及び指導・報告会
 國學院大學文学部教授 内川 隆志
- 南九州市知覧伝統的建造物群基盤強化事業現地指導
 文化庁文化財第二課伝統的建造物群部門 文化財調査官 村上 玲奈
 鹿児島県教育庁文化財課指定文化財係 樋之口 隆志

2. 報告書・図書・行物及び市内看板説明等

- 「地域のお宝」案内看板
 （宮脇・別府・松ヶ浦・中福良・手藁・勝目・大丸）
- 亀甲城跡矢印看板設置
- 川辺郷地頭仮屋跡説明看板修理
- 八瀬尾の滝説明看板修理
- 清水磨崖仏配置図看板修理
- 未指定文化財標柱設置（高田地区・御領地区）
- 「南九州市 薩南文化」第16号発行

3. 発表・執筆等

- 鹿児島県民具学会7月定例会
 「飯倉神社（南九州市川辺町宮）の歴史的環境一菩提寺・墓地・石造物一（R5.7.14）」

IV. 収集活動・資料貸出等

1. 寄託・寄贈資料

① 受託資料

なし

② 受贈資料

- 10519 あいくち
- 10544 タイガー手動計算機
- 10545 琵琶（残欠）
- 10547 携帯ゲーム機
- 10548 紙芝居ほか

2. 資料貸出及び掲載等許可

申請月日 貸出先：貸出内容：点数

- 8月5日 株式会社 雄山閣
『季刊考古学別冊46』掲載
金山水車（轟製鉄所）古写真 1点
金山水車（轟製鉄所）跡及び
平成29年度調査砦鉾所水車跡遺構配置図
1点
- 11月20日 株式会社 アプロデザイン
アクティブシニアのための情報誌
『グッドライフ vol.29』掲載
水元神社の薩摩塔 写真 1点
水元神社 写真 1点
- 3月8日 （公財）鹿児島県文化振興財団
上野原縄文の森
上野原縄文の森第72回企画展「古代人
に学ぶ“MOTTAINAI”」における展示、
展示パネル、広報誌等掲載
南田代遺跡の玦状耳飾 1点



10519 あいくち



10544 タイガー手動計算機



10545 琵琶（残欠）



10547 携帯ゲーム機



10548 紙芝居ほか

V. 博物館入館者数状況

ミュージアム知覧月別入館状況（令和6年度）

	単 独				共 通		招待者 及び 減免	入館者 合 計
	個 人		団 体					
	大人	小人	大人	小人	大人	小人		
4月	150	32			3,341	251	79	3,853
5月	217	22	40		4,526	489	135	5,429
6月	90	2			2,060	171	60	2,383
7月	116	6			2,929	280	58	3,389
8月	201	33			6,518	1,360	212	8,324
9月	167	18			4,775	297	123	5,380
10月	186	12			5,092	220	69	5,579
11月	202	14			4,858	266	104	5,444
12月	85	6			2,772	178	261	3,302
1月	122	16			3,891	319	219	4,567
2月	145	21			3,769	270	123	4,328
3月	189	16			5,254	523	111	6,093
	1,870	198	40	0	49,785	4,624	1,554	58,071

ミュージアム知覧月別入館状況（令和5年度）

	単 独				共 通		招待者 及び 減免	入館者 合 計
	個 人		団 体					
	大人	小人	大人	小人	大人	小人		
4月	113	7			2,806	177	45	3,148
5月	228	20			5,139	531	171	6,089
6月	118	1			2,389	86	36	2,630
7月	128	13			2,368	256	45	2,810
8月	165	37			4,576	910	195	5,883
9月	109	10			3,023	126	77	3,345
10月	106	14			3,125	181	56	3,482
11月	168	9			3,365	172	70	3,784
12月	121	1			1,864	127	32	2,145
1月	128	14			2,138	209	84	2,573
2月	134	16			3,222	197	77	3,646
3月	173	15			4,336	385	127	5,036
	1,691	157	0	0	38,351	3,357	1,015	44,571

平成27年度から現在までの入館者推移



VI. 南九州市内の指定文化財一覧(令和 7 年 3 月 31 日現在)

種 別	内 訳	知覧町	川辺町	顥娃町	計
1 国指定文化財 (3件)	民 俗 文 化 財	1			1
	有形民俗文化財				
	無形民俗文化財	1			1
	記 念 物	2			2
	史跡	1			1
	名勝	1			1
2 国選定文化財 (1件)	伝 統 的 建 造 物 群	1			1
3 国選択文化財 (1件)	無 形 民 俗 文 化 財	1			1
4 国登録文化財 (13件)	有 形 文 化 財 (建 造 物)	12	1		13
5 県指定文化財 (17件)	有 形 文 化 財 (建 造 物)	2			2
	有 形 文 化 財 (美 工)	1			1
	民 俗 文 化 財	2	1		3
	有形民俗文化財	1			1
	無形民俗文化財	1	1		2
	記 念 物	2	5	4	11
	史跡	2	1	1	4
	名勝			1	1
	天然記念物		4	2	4
	小 計	7	6	4	17
6 市指定文化財 (156件)	有 形 文 化 財 (建 造 物)	2	1	5	8
	有 形 文 化 財 (美 術 工 芸 品)	42	8	3	53
	絵画	3		1	4
	彫刻	10	6	1	17
	書籍	8			8
	典籍	1			1
	古文書	5	1		6
	歴史資料	13	1	1	15
	工芸品	2			2
	民 俗 文 化 財	16	30	10	56
	有形民俗文化財	13	24	10	47
	無形民俗文化財	3	6		9
	記 念 物	9	25	5	39
	史跡	9	23	4	36
	名勝	0	1	0	1
	天然記念物	0	1	1	2
	小 計	69	64	23	156
合 計		93	71	27	191

VII. 管理・組織

■ミュージアム知覧 組織図

令和6年度

館長(文化財課長) 川崎 弘一郎 ——— 文化財係長 坂元 恒太 ——— 文化財係 参事 松久保 正和

主任主査 新地 浩一郎

主任主査 取違 さやか

主査 和田 春則

主任主事 西垂水 公哉

■ミュージアム知覧 運営協議会委員

令和6年4月1日～令和8年3月31日

鮫 島 正 道 (学識経験者 元鹿児島大学農学部客員教授・元鹿児島県文化財保護審議会委員)

鐘ヶ江 賢 二 (鹿児島国際大学ミュージアム学芸員)

宮 原 知 見 (知覧水車からくり保存会副会長)

濱 田 純 一 (石垣自治会長)

早 川 美 紀 (教行寺住職)

日 置 健 作 (大丸地区公民館長)

満 永 真 理 (知覧特攻平和会館管理組合職員)

LINEミュージアム配信中！

**毎週水曜日
【南九州市公式LINE】で南九州市
内の文化財を紹介しています！**

↓ おともだち追加はこちら



南九州市公式LINE
お友達募集中！
あなたにあった情報を配信しています



ミュージアム知覧
館報 第21号

編集・発行

南九州市 文化財課
(ミュージアム知覧)

〒897-0302

鹿児島県南九州市知覧町郡17880番地

TEL 0993 (83) 4433

FAX 0993 (83) 3055

発行日

令和7年3月31日



ミュージアム知覧

MUSEUM CHIRAN

鹿児島県南九州市